

歯っぴいらいふ2025年1月号

あたらし歯科医院

歯科衛生士 栩木 誠子

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして幸多き一年になりますようにお祈りいたします。

年末年始はゆっくりと過ごされたことでしょう。

また新年が少しでも喜びの笑顔あふれる毎日を過ごしたいですね。

昨年からお届けしておりました歯列矯正の内容を引き続きお届け致します。

不正咬合をそのままにしておくとは体への影響や生活への影響も起こしてしまいます。

体への影響では、むし歯や歯周病が歯や歯周組織に影響を与えてしまう事が心配されます。

生活への影響は性格や対人関係への影響も心配です。



そもそも歯が動くメカニズムとは・・・

歯は動きます。以外に思われるかもしれませんが、知らないうちに少しずつ新しい骨と古い骨が置き換わっています。

新しく生まれ変わるメカニズムは新陳代謝と同じですが、まさに歯列矯正はこの仕組みを活用していると考えます。

歯が歯槽骨の中で動くのは自然でこれを利用すると矯正装置を付けて弱い力を加えることで歯を無理なく目的とする場所へと動かすことが出来るのです。

従いまして歯列矯正装置と歯が動くメカニズムによって歯を少しずつ動かしたい方向に移動させ良いかみ合わせと理想的なきれいな歯並びを作る治療という

説明になるでしょう。

何故？歯は動くのでしょうか・・・

歯とその周囲の歯槽骨の間には繊維に富んだ歯根膜という組織があります。

先程書いたように動かしたい歯に矯正装置で弱い力を加え、歯根膜を圧迫するとそこに骨を吸収する細胞が出来その反対側の歯根膜には骨を作る細胞が出来ゆっくりと動くのです。

少し考えてみてください。見た目だけの美しさを求めているだけなのでしょうか？

患者様の声としてはデコボコした歯を治したい。

月破を治したい。歯の隙間を治したい。など見た目の悪さを治したい理由がほとんどです。見た目の改善であれば比較的短期間で治療は出来ます。

分かりやすく例えますと歯が出ているのを治したいのであれば、歯の根を残し歯冠を切り差し歯にする見た目だけの治療があります、

しかしこの方法では場合によっては歯根に不自然な力を加えることで歯の寿命が短くなってしまいかもかもしれません。

本来の矯正治療ではかみ合わせ全体から治してきれいな歯並びを作る事です。

悪い歯並びが及ぼす健康への影響が考えられるようになったので機能面の不都合を治したいという希望も増えてきました。

矯正治療は治療期間も長くなります。心身ともに健康増進を目的としてやるのであれば、顎などの成長発育を考えたくて健康な自分の歯をゆっくり丁寧に動かしてゆくのが一番です。



矯正治療の流れといたしましては、患者様一人一人により異なります。

早期治療、本格治療もありそれぞれの方のタイミングも異なります。この点につきましてはさらに二月号で書かせていただきます。

これから寒くなり風邪も流行するでしょう。

基本的な手洗いうがいを必ず行い必要な場所ではマスクの着用をしてご自身の体を大切にしてくださいね。

矯正治療前



矯正治療後



治療前



矯正治療中



治療後